

那珂川の早期遡上アユから種苗を作出しました！

2023. 10. 27 水産試験場

河川での成長や生き残りが良好で、良く釣れる放流種苗の育成を目指して、那珂川に遡上してきたアユを親魚とした種苗生産を進めています。

4月4～5日に那珂川水系で採捕した早期遡上魚を水産試験場の飼育池で飼育し、10月11日にオス149尾、メス126尾を用いて、受精作業を行いました。受精させた卵は8日間孵化槽内で飼育を行った後に、発眼卵として76.6万粒を栃木県漁業協同組合連合会の種苗センターに出荷しました。

天然遡上魚は遺伝的多様性が高く個体によって成熟状態がばらつくために、なかなか多数の親魚から同じ日に採卵することが難しいのですが、今回は比較的多くの親魚を使用することができました。

早期遡上魚を親魚とした種苗は、成長が早く解禁当初から釣れやすいなど放流種苗として好適な特性を持つ可能性が高いと考えられます。今回、初めて早期遡上魚から種苗を作出することができたので、まずは、養魚場での成長や生き残り等を評価していきます。



写真1 採捕のようす(4月4日)



写真2 採卵に使用した親魚(10月11日)



写真3 受精卵のようす(10月11日)

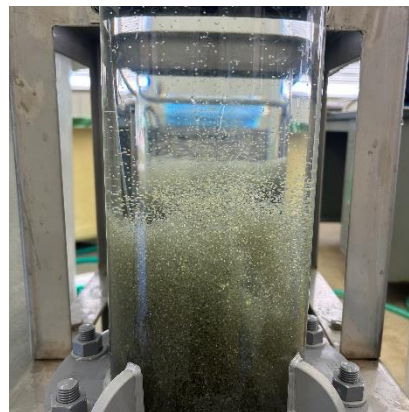


写真4 発眼卵のようす(10月18日)